

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号) 企業・団体名 (シチズンマシナリー株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【【非該当】を選択した場合こちらには理由記載】	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			シチズングループは、あらゆる差別(性別、性的指向、性別表現、年齢、心身障害、国籍、人種、皮膚の色、宗教、婚歴等による差別)を一切認めないことを行動憲章に明記し、全社員が携帯している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			ハラスメント防止規定があり、人権デューデリジェンスの構築と研修の実施のほか、ハラスメント全般の相談を受け付ける「シチズングループコンプライアンスホットライン」も設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			徹底した労働時間の管理による長時間労働の抑止をはじめ、ワークライフバランスを支援するさまざまな制度を設けている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			シチズングループは、あらゆる差別(性別、性的指向、性別表現、年齢、心身障害、国籍、人種、皮膚の色、宗教、婚歴等による差別)を一切認めないことを行動憲章に明記し、全社員が携帯している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			各事業所に安全衛生委員会を設置し、定期的な会合の実施や、職場ハローロール、クライシス調査などにより、労働安全衛生向上へ努めているほか、安全衛生方針の周知では、従業員へのe-ラーニングも実施している。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			メンタルヘルスに対応した休職や時短勤務などの規定が設けられていることや、産業医面談の機会も得られるほか、心の健康支援として定期的なストレスチェックが実施される。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			性別や国籍、新卒・中途採用に関係のない配置、機会の付与を実践しており、当社独自の女性活躍推進法に基づく行動計画も策定。厚生労働省が認定するくるみんを取得している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			シチズングループ間の人財ローテーションの実施や、リーダー育成にも注力しており、各事業の知識と理解を深め、グループ全体での人材育成を実施している。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			パートタイム労働法や労働契約法に沿った適切な体制・対応・社内規定が定められている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			シチズン健康保険組合が被保険者とその家族の健康保持・増進を目的に運営されている。当組合では、加入者向けの健康情報提供サイトIPEP UPJを活用し、さまざまな健康課題に寄与するコンテンツが用意されている。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			廃棄物の種類・量などを把握している。特に産業廃棄物に関しては必要な manifests 伝票の発行保管をしている。ほか、工場内の再資源化率は99%を超えている。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			エネルギー使用量や温室効果ガス排出量を把握しており、各部門の目標の中にもCO2排出削減が必須項目として含まれている。【予定】グループとしてSBT取得予定。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			温室効果ガス排出量を把握しており、各部門の目標の中にもCO2排出削減が必須項目として含まれている。【予定】グループとしてSBT取得予定。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			有害化学物質を把握しているほか、シチズングループは、PRTR法対象化学物質(国内)を2018年度比で2024年までに10%削減、2030年までに45%削減する目標を策定し、工程の変更や代替物質への転換等の削減活動に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			本社敷地内に生息する絶滅危惧種(蝶・アリ)を守るため、建築する新棟の向きを変えて建築している。その他生物多様性の保存のため、食草の植樹など積極的に取り組んでいる。							6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			工場内の再資源化率は99%を超えている。 【予定】マイボトルの利用促進によるプラスチック使用の削減推進を予定。												13		14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			自社の水利用状況を把握し、利用効率の改善に取り組んでいる。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			ISO4001を取得しているほか、シチズングループの環境方針、シチズングループ環境ビジョン2050を公開している。SDGs達成に向けたグローバルな環境経営を推進し、シチズングループ環境目標2030を制定している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			ISO4001を取得しているほか、シチズングループの環境方針、シチズングループ環境ビジョン2050を公開している。SDGs達成に向けたグローバルな環境経営を推進し、シチズングループ環境目標2030を開示している。													12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			建設中の新棟にて太陽光パネルを設置予定。 グループとしての再エネ利用推進。							7.2							13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			グリーン調達基準を設けている。法律への対応をより強固にするため、外部調達先の環境監査や有害物質が含まれる可能性が高いハイスル品に対する分析等も実施している。												12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範や申請制度を整備しているほか、e-ラーニングなどの教育により社内浸透を図っている。																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			シチズングループ行動憲章に、「公正・透明・自由な競争・責任ある商行為の実践」が明記され、全社員が携帯している。																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			シチズングループ行動憲章に、「知的財産の管理」について明記され、全社員が携帯している。また、発明内容を掘り下げ質の高い権利になるように努めている。また、専門知識を有する親会社と協力し業務を進めている。								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			「個人情報保護規程」などの規定が整備されている。また、HPIにはプライバシーポリシーについて掲載している。																	16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)	【非該当】		弊社が製造販売している工作機械は紛争鉱物の対象外(非該当)である。ただ、お取引先様に配付している「シチズングループCSR調達ガイドライン」の中に紛争鉱物を使用しない方針を記載しており、協力をお願いしている。																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			毎年取引先様方針説明会を開催し、取引先様とのコミュニケーションを図っているほか、シチズングループ行動憲章の中に、「取引先様との関係」について明記され、全社員が携帯している。また、「シチズングループCSR調達ガイドライン」を配付し、その中で人権、労働、他の項目が記載されており協力をお願いしている。					5		8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3					8	9	10								17

[illegible]

42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			BCPを策定しており、毎年各事業所で避難訓練や、BCP対応訓練を実施しているほか、安否確認システムを導入している。									9		11		13 13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			グループとして長期視点での後継者育成がされており、必要な対策が取られている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
SDGs達成に向けた組織の発足		SDGs推進チームを発足した。																	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定